

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：キッズパートナー磯子中原	種別：認可保育所			
代表者氏名：小宮 真奈美	定員（利用人数）： 60名(59名)			
所在地：〒235-0036 横浜市磯子区中原3丁目3-11				
TEL：045-773-3161	ホームページ：https://www.care-partner.com			
【施設・事業所の概要】				
開設年月日 2019年4月1日				
経営法人・設置主体（法人名等）：ケアパートナー株式会社				
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員	4名	
専門職員	保育士	15名	調理員	2名
	調理師	1名	子育て支援員	1名
施設・設備の概要	保育室（乳児室含）	6室	トイレ	2ヶ所
	調乳室	1ヶ所	調理室	1ヶ所
	事務室	1室	医務室	1室
	職員更衣室	1室	園庭	有

③ 理念・基本方針

保育理念

子どもの未来のために「生きる力」を育みます。

保育方針

- ・情緒の安定が図れる、安全で安心して過ごせる最良の環境を提供します。
- ・沢山の遊びや体験を通し、好奇心や創造性、表現力を育てます。
- ・たくさんの人とのふれあいから、明るく元気にあいさつできる子どもを育てます。
- ・自分でやりたい、という気持ちを大切に自立心を育てます。
- ・たくさんのやさしさを注ぎ、思いやりのある、やさしい豊かな心を育みます。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

園は京急線の屏風ヶ浦駅、杉田駅、JR線新杉田駅、シーサイドライン新杉田駅から歩ける便利な場所にありますが、住宅街で公園や小学校も近くにありますが、園庭もありますが、晴れている日には散歩に出かけ、電車を見に行ったり公園へ散歩に出かけています。月に2回英語遊び・体操・サッカーを幼児クラスで外部講師により行っています。

食育には力を入れており、毎月計画を立てて0～5歳児まで内容を変えながら楽しく行ったり、植物や野菜を計画的に育て収穫を楽しみ、給食でいただいています。

製作においても、各クラス工夫を凝らして、月に1度行い掲示しています。（子ども達と相談して製作内容を決定）体幹を鍛えるため、さくらんぼリズムを取り入れて楽しく行っています。（0歳～5歳で、出来る動きを楽しむ）保護者参加の行事は多くありませんが、コロナ禍でも工夫して運動会の時間を分けて全員で行い、冬には

マラソン大会を取り入れていますが、今年は思考を変えてマラソンの後に保護者と遊び保護者同士のかかわりが持てるようにしたり、0, 1, 2歳児は別日に保護者と外遊びをして保護者同士の時間を作るように工夫をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年7月1日（契約日）～ 令和5年3月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)子どもが様々な体験、経験ができる保育を実施しています

園は、法人が介護事業として運営する認知症高齢者のグループホームと同じ建物にあり、身近に異世代間交流が持てる環境があります。体幹を鍛える取組として日常的にリトミックを実施し、さらに、子どもたちが遊びを通じて体力や知力を育めるよう、外部講師による「体操教室」「英語教室」「サッカー教室」を導入しています。また食育に力を入れ、年齢に応じたクッキングや栽培を通じて食への興味関心だけではなく、健康と食事など子ども自身が自分の体の大切さを知る機会にもなっています。園は子どもたちが安全な環境の中で様々な体験ができる保育運営をしています。

2)食育に力を入れ、食への様々な興味が持てるよう取り組んでいます

年間の食育計画を作成し、全クラス月1回のクッキングを行っています。年齢に沿って食材に触れたり調理をするなどして、食への興味を深めています。バケツ稲作に取り組み、収穫をして幼児クラスが脱穀の経験をしたり、七草がゆの時は、七草の葉のクイズをしています。のり巻きを自分で巻いたりして、子どもたちは楽しみながら食への関心を深めています。食材生産者からの農家通信が掲示され、クイズなども掲載されています。保護者と子ども一緒に食に関する興味を持てるよう工夫しています。

3)職員の自己評価を公表し、園全体で保育の質の向上に取り組んでいます

年度始めに職員は個別に目標を立て、それに対しての評価を行っています。年2回の園長との面談の中で、目標や職員自身の状況を確認しています。年度末には、個々の自己評価に基づいて、職員全体で話し合いを実施し、保育所全体の自己評価としてまとめたものをホームページに公開しています。保育や自己資質等に関して、高く評価できる点と努力を要する点を明確にしています。改善策について、積極的に職員会議の議題に取り上げ、保護者からも意見を求めようと掲示しています。

4)外部の方の受け入れにより社会貢献と保育の向上が期待されます

実習生やボランティアの受け入れマニュアルを備えています。コロナ禍であることや開設して間もないこともあり、実績がありません。コロナが落ち着いた際は、ボランティアや中学、高校生の職業体験受け入れの検討をしています。地域も含め外部の方を受け入れ、保育士以外の人と関わりを持つことで子どもの新たな発見や成長につながります。体制を作り取組の推進が期待されます。

5)コミュニケーション力を高め、より良い保育を展開されることが期待されます

初めて第三者評価を受審することとなり、事前に職員の話し合いが行われました。忙しい中、職員間でコミュニケーションを取り、取組を行ったことで、コミュニケーションの重要性をより感じる事ができたとの意見があります。園は若い職員も多く、ICT化による情報共有がスムーズに行える環境が整備されており、職員間の連携も良く取れています。今後もコミュニケーションを充実させ、個々の職員の良さを生か

し、保育上に展開していくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価を受けたことにより、職員が一生懸命行っていることも、書面に残していないこともあることが解り、改善していく事が出来ました。また、今まで話し合いが少なかったためお互いの事が分かり合えるところまで行っていなかったように感じ、より一層の職員間の話し合いの場を設ける努力をしております。

第三者評価を受けるにあたり、とても大変でしたので職員からの不満も大きかったのですが、得るものもあったと確信しております。より良い保育を提供できるよう、これからも職員と共に切磋琢磨してまいりたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり